

令和元年度 事業報告

少子高齢化の著しい進行に伴い、地域社会や家族の様相は大きく変容し、福祉や生活に対する課題が深刻化する中、家族の絆、地域住民の支えあいの大切さが改めて重要視されています。

そのような中、人々が様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、住民相互の支えあいによる「地域共生社会」の実現に向けて、町が策定する「第2期地域福祉計画」と基本理念「地域福祉力の向上」を共有し、「第3期地域福祉活動計画」に基づき、地域住民と共に考え、互いに協力し課題解決を図りながら、重点取り組みとして「地域福祉活動計画の推進」「他機関・多職種連携によるプラットフォーム形成の構築」「災害にも強い福祉の地域づくりの推進」「生活支援コーディネーター事業の取り組み」「美郷町福祉生活サポートセンターの機能充実」「介護保険等サービス事業の取り組み」を推進しました。

また、社会福祉法人制度改革により、全ての社会福祉法人に対して経営組織体制の強化などが求められ、あわせて、地域における公益的な活動の実施が社会福祉法人の責務となり、今後も美郷町における地域福祉を推進する責任ある団体として、健全で効率的な社協組織体制の確立を図るため、「第1次中期経営計画」「第2次職員定数適正化計画」に基づく組織体制を検討しました。

1. 地域福祉活動計画の推進

「地域福祉力の向上」を目指した3つの基本目標を推進するため、6つの取り組み目標により事業を展開しました。

【基本目標1 セルフケアの推進】

地域における出会いとつながりの場をつくり交流活動を活性化させ、地域において「絆」や「つながり」を持ち続けることができるよう、一人ひとりが地域に関心を持ち、自立生活を営む力・お互いを支えあう力の理解を深めました。

◎取り組み目標1 「地域福祉を支えるひとづくり」

- ・地域福祉座談会の開催
- ・社会福祉大会の開催
- ・福祉教育活動の推進

◎取り組み目標2 「住民参加ふれあい支援」

- ・地域住民グループ支援事業の推進
- ・単身老人日帰り旅行の開催
- ・生きがい活動支援通所事業の実施
- ・老人福祉センター「雁が音苑」受託管理

【基本目標2 地域包括ケアの推進】

誰もが安心して安全に暮らせるために、福祉サービスの適切な利用ができる体制づくりを進めました。相談関係機関の情報共有により相談ネットワークシステム体制の充実強

化、顔の見えるつながりあえる多職種協働による支援体制の連携システムづくりを進めました。

◎取り組み目標3「安心な暮らしを支える体制づくり」

- ・総合相談事業による相談機能の強化・日常生活自立支援事業の推進
- ・福祉あんしん電話事業の推進 ・配食サービス事業の実施
- ・一斉除排雪活動の推進 ・資金貸付事業の実施
- ・介護保険事業、障がい者福祉事業の実施 他

◎取り組み目標4「地域福祉トータルケア推進事業の強化」

- ・トータルケア推進事業 ・生活支援コーディネーター事業の推進
- ・「まめだ屋」の運営

【基本目標3 地域共生社会の推進】

ネットワーク活動を基盤にアウトリーチ（地域に出向く）を徹底し、住民同士がその解決に向けた新たな生活支援活動を開発・行動できる体制強化や地域での「気づき」を「つなぐ」見守り支えあい活動による、地域・住民・関係機関の協力による災害支援ネットワーク機能の強化を図りました。

◎取り組み目標5「ともに支えあう地域づくり」

- ・ネットワーク活動の推進（認知症 SOS・緊急委一時支援）
- ・在宅介護支援センター（千畑地区）事業の推進
- ・ボランティアセンターの運営
- ・みさと福祉センターの管理運営 他

◎取り組み目標6「組織財政基盤の整備」

- ・理事会、評議員会、監事会の開催 ・各委員会の開催
- ・共同募金事業への協力 他

2. 他機関・多職種連携によるプラットフォーム形成の構築

広範多岐にわたる心配ごとや悩みごとを受け止め、総合的かつ迅速に対応できるよう医療機関、地域包括支援センター・介護関係者、社会福祉協議会等の多職種による連携を図りました。

生活困窮者の相談については、町福祉保健課との連携で生活困窮者自立支援事業へとつなぐとともに現物支給による支援体制の充実を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯に対する生活福祉資金特例貸付の相談窓口を開設し、緊急支援体制を強化しました。

若年層への支援として「県南若者サポートステーション横手」による出張相談をみさと福祉

センターで継続実施し、若者の就労支援相談体制の連携強化を図りました。また、NPO法人 KOU 主催による「あきた若者サポートステーション若者の居場所作り事業」を共催し、月2回まめだ屋を活用し閉じこもりの若者が気軽に集える場所づくりを支援しました。

生命保険協会秋田県協会様から寄贈いただいた福祉巡回車を活用しアウトリーチ（地域に出向き）を強化し「つながりをつくる支援」として、地域住民同士がその解決に向けたあらたな生活支援活動を開発・行動できる体制の取り組みによる「一人の不幸も見逃さない運動」を推進しました。

3. 災害にも強い福祉の地域づくりの推進

非常災害防止体制の確保及び避難・通報体制の確保など地域住民の避難場所や災害ボランティアセンターとして「みさと福祉センター」が地域の支えになれるよう職員共通認識による施設の役割機能強化を図りました。さらに今年度は、設備の経年劣化を点検し町の補助を受け福祉センター屋根の防水改修工事を行うことができるとともに支え合う地域づくりの福祉の拠点としての機能を維持することができました。

緊急事案に対する協力体制の強化として、特殊詐欺被害や高齢者交通事故の多発により大仙警察署と連携しパンフレット配布等により被害・事故防止啓発活動を実施しました。

緊急支援「認知症SOSおたすけネットワークシステム」については、SOS通報発信は1件、システム登録者は25名、協力機関104社により認知症の方が安心して暮らせる地域づくりを推進しました。

4. 生活支援コーディネーター事業の取り組み

生活支援コーディネーター1名（兼務）を配置し、地域包括ケアシステムの介護予防・生活支援の仕組みの構築のため、地域に出向きニーズ把握を実施しました。また、おたすけマン、老人クラブ、JA女性部と情報交換を実施し、地域の気づき、支え合いの連携について協議しました。

美郷町生活支援体制整備事業協議体と連携・協働により、地域で必要とされる生活支援サービスの開発や充実に向けて地域課題を具体的に検討し「助け合い活動」の基盤整備を進めました。

5. 美郷町福祉生活サポートセンターの機能充実

日常生活自立支援事業による「福祉生活サポートセンター」を設置、専門員1名（兼務）を配置し、生活支援員3名（各地区）とともに判断能力が弱まってきた高齢者等を対象に、福祉サービスの利用援助や日常的金銭の管理を行い、住み慣れた地域で安心して在宅生活を送れるよう支援しました。

6. 介護保険等サービス事業の取り組み

障がい福祉サービスも含め在宅サービス利用回数の減少や人材確保の困難により運営状況が厳しい局面にあることから事業体制・財政面を検証し見直しを図り、通所介護事業を今年度末で

廃止しました。事業廃止にあたっては利用者の方等への十分な配慮を心掛け関係機関との協力で慎重に進めトラブルなく完了しました。各事業とも、「秋田県介護サービス事業所認証評価制度」認証事業者として職員のスキルアップを図り決め細やかなサービス展開に努めました。

また、2月からは美郷町新型コロナウイルス感染症対策本部の設置を受けて、「新型コロナウイルス感染予防対策」に十分注意を払い、業務を進めました。

次年度は、地域福祉を推進する責任ある団体として、地域組織、社会福祉法人、福祉サービス事業者等と互いに交流し、連携することにより、これまで以上の大きな活動展開が図られるよう、さらなる地域福祉の醸成を目指します。また、健全で効率的な社協組織体制の確立を図るため、第1次中期経営計画により事業、組織体制、財政面を検証し、必要な改善策を講じることに努め、法人全体の効率化・生産性の向上、経営の効率化を推進します。

【令和元年度各事業実施状況】

【取組目標1：地域福祉を支えるひとづくり】

事業名	福祉座談会	84,616円
実施内容	<p>◎福祉協議会活動に対する理解を深めてもらうとともに、ニーズ把握に努め、地域の問題・課題について住民の共通認識を図った。</p> <p>テーマ：「誰もが安心して暮らせる地域づくり」</p> <p>◎開催期日：11月7日～11月8日 9会場（ふれあいサロン実施地区）</p> <p>◎参加者数：92名</p>	

事業名	社会福祉大会	657,413円
実施内容	<p>◎大会を通して、社会福祉協議会活動への理解を深め福祉意識の高揚を図った。</p> <p>◎第16回美郷町社会福祉大会 10月17日開催 会場：美郷町公民館 参加者：250名 テーマ：「つながりを力に ～安心・安全な地域 美郷をめざして～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式典 ・公演：劇団「ちいさなお世話」 演目：「見守り、支え合う地域社会」 <p>◎秋田県社会福祉大会 10月30日開催 会場：秋田市文化会館 参加者：15名 記念講演「地域包括ケアから地域共生社会へ ～参加とつながりを手がかりに～」 慶応義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 教授 堀田聡子氏</p>	

事業名	福祉教育活動推進事業	606,851円
実施内容	<p>◎町内各校のJRC活動を推進、福祉活動への関心を高め、児童生徒の福祉意識の高揚を図った。</p> <p>◎町内5校（小・中・高）の福祉教育への取り組みへ助成金を交付した。 （仙南・六郷・千畑小学校各10万円、美郷中学校15万円、六郷高校10万円）</p> <p>◎福祉教育推進連絡協議会：4月25日</p> <p>◎サマースクールの開催：7月26日 参加者数38名</p> <p>◎六郷小学校4年生総合学習支援（未来の福祉を描く・疑似体験・車椅子体験）：7月2日</p>	

【取組目標2：住民参加ふれあい支援】

事業名	地域住民グループ支援事業	1,399,932円
実施内容	<p>◎町内会館等を利用し、地域のボランティアが自主的に運営する「ふれあいいきいきサロン」を支援し、高齢者の生きがいづくりや孤独感の解消を図った。実施地区1ヶ所に活動助成金20,000円を交付した。</p> <p>◎サロン開催を毎月積極的に実施しているサロン地区には、10月の中間報告で確認し特別加算活動助成金20,000円を交付した。</p> <p>◎サロン実施地区は56箇所、特別加算活動助成地区は13箇所</p>	

事業名	単身老人日帰り旅行	334,381円
実施内容	<p>◎一人暮らし老人を対象に日帰り旅行を実施、仲間作りをしながら閉じこもり予防と交流を図った。</p> <p>◎実施日：10月28日</p> <p>◎場所：雄川荘（横手市雄物川町）</p> <p>◎参加人数：51名</p>	

事業名	生きがい活動支援通所事業	8,112,724円
実施内容	<p>◎おおむね65歳以上の高齢者で介護保険の認定を受けていない方を対象として、通所により各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図り、要介護状態への進行を予防した。</p> <p>◎利用者数：61名（みさと福祉センター：20名、雁が音苑：41名）</p> <p>◎延べ利用人数：2,701名（みさと福祉センター：618名、雁が音苑：2,083名）</p> <p>◎開催場所を3か所（千畑、六郷、仙南）から2か所（千畑、仙南）に変更した。</p> <p>◎経年劣化による送迎バスとボイラーの故障については、全額町補助により修理することができ安全に業務を遂行した。</p> <p>◎2月新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大したため手洗い消毒等感染予防の徹底を図り事業を継続し介護予防に努めた。</p>	

事業名	老人福祉センター「雁が音苑」の受託管理	120,000円
実施内容	<p>◎高齢者の健康を増進し、教養を高め高齢者ができる限り介護者状態に陥ることなく健康で生き生きとした生きがい活動のための便宜を総合的に供与し、老人福祉の増進を図った。</p> <p>◎貸出利用件数：5件、利用者数：157人</p> <p>◎老人福祉センターを会場とした生きがい活動支援通所事業（仙南地区）の実施。</p>	

【取組目標3：安心な暮らしを支える体制づくり】

事業名	総合相談事業	540,000円
実施内容	<p>◎みさと福祉センターを相談会場とし、町内の相談機関等が連携を図り日常生活や専門的な相談に応じ、町民生活の安定を図った。</p> <p>◎一般相談：専任相談員6名を委嘱し毎週水曜日開設。（相談件数23件）</p> <p>◎法律相談：弁護士による専門相談。随時対応。（相談件数4件）</p> <p>◎薬局や寺院等の協力によるまちかど相談所の実施</p> <p>◎ふれあい相談所相談員研修会議 3月3日</p> <p>◎県南若者サポートステーション横手の出張相談をみさと福祉センターを会場に3回開催した。</p> <p>県南若者サポートステーション横手のリーフレットを全戸配布し相談機関の周知を図った。</p> <p>◎秋田若者サポートステーションと共催し、若者の居場所作り事業を実施。まめだ屋にて毎月2回第2・4水曜日開催した。</p> <p>※新型コロナウイルス感染予防対策のため、2月と3月は中止した。</p> <p>◎相談関係機関の会議等への出席し、地域課題・連携等情報の共有を図った。。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・大仙警察署地区相談機関等ネットワーク会議 10月3日 ・仙北地域自殺予防ネットワーク推進会議 2月7日 ・生活困窮者自立支援制度に係る社協連絡会 2月12日 ・自殺未遂者支援研修会 1月24日 ・特殊詐欺被害防止パンフレット配布による啓発活動。
--	---

事業名	日常生活自立支援事業	1,088,268 円
実施内容	<p>◎「福祉生活サポートセンター」を設置し専門員1名（兼務）を配置。認知症高齢者等判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用についての情報提供、利用のための手続き、料金の支払い等、日常的金銭の管理を行い安心して在宅生活を送れるよう援助し、世帯の支援を図った。</p> <p>◎日常生活自立支援事業専門員連絡会議 毎月1回</p> <p>◎成年後見利用促進研修会 11月22日</p> <p>◎日常的金銭管理サービス実施状況調査 6月25日</p> <p>◎利用者数：10名</p> <p>◎延べ利用回数：123回</p> <p>◎延べ相談件数：89件</p>	

事業名	福祉あんしん電話事業	2,842,436 円
実施内容	<p>◎65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、障害者世帯等に対し、あんしん電話を貸し出し不慮の事故や災害に備えた。</p> <p>◎24時間体制での相談支援や必要に応じ消防署・緊急協力員と連携し、緊急システムの整備を図り、世帯の安心安全な生活を支援した。</p> <p>◎ふれあい安心電話システム推進事業加入市町村社協連絡会議に参加した。。2月14日</p> <p>◎設置台数：141台</p> <p>◎通報件数：322件</p>	

事業名	配食サービス事業	11,358,600 円
実施内容	<p>◎65歳以上の高齢者世帯等で、高齢、心身の障害、傷病等により調理が困難な方に対し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否確認等の見守り活動を推進した。</p> <p>◎実施曜日：千畑（火・金曜日）、六郷（水・金曜日）、仙南（火・金曜日）</p> <p>◎利用者数：124名、延べ配食弁当個数：11,788食</p> <p>◎生きがいデイサービス及び通所介護事業利用者へ昼食提供（3,694食）</p>	

事業名	一斉除排雪活動事業	116,044 円
実施内容	<p>◎単身老人等を対象に地域の町民、企業、団体、学校の協力を得て一斉除雪を実施、ボランティア活動を推進するとともに、高齢者が住み慣れた地域や家庭において安心して冬の暮らしができるよう支援を図った。</p> <p>◎除排雪調査及び状況確認 12月、1月</p> <p>◎実施日：予定していた1月23日と2月13日は積雪不足の為中止</p> <p>◎除雪世帯数：0件</p> <p>◎一斉除排雪活動事業検討会 11月18日</p> <p>◎仙北地区雪対策連絡協議会へ出席 11月11日</p> <p>◎JAL地域貢献活動は降雪なしのため中止</p>	

事業名	介護用品支給事業	3,783,082 円
実施内容	<p>◎在宅の要介護度4・5または特別障害者・障害児童福祉手当が支給されている方を介護している家族に対し、紙おむつ及び尿とりパットを支給し、寝たきり者の衛生保持及び在宅介護の支援を図った。</p> <p>◎利用者数：141名 ◎延べ支給人数：560名</p>	
事業名	移送サービス	134,907 円
実施内容	<p>◎寝たきりの方等で、福祉車両でなければ移動できない方へ移送車両を貸出し、通院やレジャーなどの外出の支援を図った。</p> <p>◎利用件数：20件</p>	
事業名	防火点検	8,996 円
実施内容	<p>◎南消防分署と協働し、単身老人世帯を対象に防火週間に合わせ点検を実施、火災予防に努め安全な暮らしを支援した。また、緊急情報キットの内容更新の呼びかけを行い、緊急時の対応に備えた。</p> <p>◎秋田県消防設備協会より、火災報知機未設置世帯へ火災報知器の設置により安全な暮らしを支援した。</p> <p>◎実施日： 4月10日、11日、12日 訪問世帯数 36世帯 11月5日、6日 訪問世帯数 11世帯</p>	
事業名	地域子育て応援事業	112,957 円
実施内容	<p>◎社協会費を財源とする子供・子育て関連事業を実施し、若い世代へ社協のPRを図った。</p> <p>◎市内の小学校に入学する新1年生に学用品を贈り、健やかな成長を見守り応援した。</p> <p>・学用品贈呈数：平成31年度新1年生名 108名</p>	
事業名	たすけあい資金貸付事業	426,928 円
実施内容	<p>◎市内の低所得世帯で一時的に資金を必要とする世帯に、小口現金の貸付を行い、民生児童委員と協働で世帯の更生支援を図った。長期滞納者へは8月と3月督促状を発送した。</p> <p>◎貸付件数：10件 421,000円</p> <p>◎貸付残高3月末現在：717,520円（22件）</p>	
事業名	生活福祉資金貸付事業	568,400 円
実施内容	<p>◎秋田県社会福祉協議会の運営する生活福祉資金貸付事業の業務委託を受け、低所得世帯等の資金貸付の相談や申請受付を行い、民生児童委員の協力を得ながら、世帯の更生支援を図った。</p> <p>◎相談件数：72件、申請件数：0件</p> <p>◎秋田県社協貸付残高3月末現在：9,405,382円</p> <p>◎秋田県社協現地償還指導訪問 なし</p> <p>◎生活福祉資金担当職員・民生委員合同研修会 新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止</p> <p>◎新型コロナウイルス感染による収入減世帯への特別貸し付け窓口の設置。相談件数3件</p>	

事業名	居宅介護支援事業	34,203,330 円
実施内容	<p>◎利用者が有する能力に応じ、利用者に適切なサービスを提供する居宅サービス計画及び介護予防計画を作成し、在宅生活が継続できるよう支援を図った。</p> <p>◎携帯電話を利用した 24 時間連絡体制を取り、利用者の相談等に対応し支援を図った。</p> <p>◎介護保険事務所との委託契約により要介護認定調査を実施した。</p> <p>◎居宅サービス計画作成件数 1,823 件 利用者数 221 名</p> <p>◎介護予防プラン作成数 692 件 (予防プラン 388 件、予防ケアマネジメント 304 件、短期集中 0 件) 利用者数 79 名 (予防プラン 41 名、予防ケアマネジメント 38 名)</p> <p>◎認定調査件数：37 件</p> <p>◎居宅介護支援事業者集団指導 5月16日</p> <p>◎2 月新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大したため手洗い消毒等の感染予防に努め事業を継続した。</p>	
事業名	訪問介護事業	13,863,767 円
実施内容	<p>◎要支援・要介護状態の高齢者に対し身体介護や生活支援の訪問介護サービスの提供を行い利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援を図った。</p> <p>◎利用者数：54 名 (介護 31 名、総合 23 名)</p> <p>◎延べ利用回数：3,939 回 (介護 2,896 回、総合 1,043 回)</p> <p>◎実習生の受け入れ：六郷高等学校、日赤秋田短期大学</p> <p>◎第 1 号事業実施事業者集団指導 9月11日</p> <p>◎2 月新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大したため手洗い消毒等の感染予防に努め事業を継続した。</p>	
事業名	訪問入浴介護事業	10,047,811 円
実施内容	<p>◎自宅浴槽での入浴が困難な要支援・要介護状態にある高齢者等に対し、簡易浴槽を自宅に持ち込み訪問入浴介護サービスの提供を行い利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう身体の衛生保持及び世帯の支援を図った。</p> <p>◎利用者数：27 名(介護 27 名) 延べ利用回数：758 回</p> <p>◎2 月新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大したため手洗い消毒等の感染予防に努め事業を継続した。</p>	
事業名	障がい者福祉事業	4,189,530 円
実施内容	<p>◎生活支援ホームヘルプサービス事業：利用者なし (65 歳以上の自立高齢者を対象に家事援助・日常生活に関する支援を提供する。)</p> <p>◎障害者自立支援事業： 利用者の立場に立った適切な居宅サービスを提供、利用者が可能な限り居宅</p>	

	<p>において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護・家事援助・同行援護サービスにより支援を図った。</p> <p>◎障害者自立支援事業 居宅介護：利用者数 4名 (延べ利用回数 320回)</p> <p>同行援護：利用者数 2名 (延べ利用回数 46回)</p> <p>身体障害者入浴介護：利用者数 3名 (延べ利用回数 214回)</p> <p>◎障害者認定調査：調査件数 0件</p> <p>◎美郷町総合支援協議会全体会議・実務者会議 6月25日・7月10日</p> <p>◎指定障害福祉サービス事業所等集団指導 12月16日</p> <p>◎令和元年度指定障害福祉サービス事業所等実施指導 2月7日</p> <p>◎障がい者自立支援セミナー：2月27日</p> <p>◎2月新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大したため手洗い消毒等の感染予防に努め事業を継続した。</p>
--	--

事業名	相談支援事業（障がい者・障がい児）	1,672,170円
実施内容	<p>◎障害者総合支援法と児童福祉法の理念に基づき、利用者及び保護者の意思を尊重し、利用者等の立場に立った相談及び援助を行った。</p> <p>◎特定相談支援：利用者数 13名 (延べ計画作成件数 112件)</p> <p>◎障害児相談支援：利用者数 0名 (延べ計画作成件数 0件)</p> <p>◎相談支援関係者ネットワーク会議：7月19日</p> <p>◎2月新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大したため手洗い消毒等の感染予防に努め事業を継続した。</p>	

事業名	デイサービス事業	6,819,655円
実施内容	<p>◎要支援・要介護状態の高齢者にデイサービスを実施し、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援を図った。</p> <p>◎通所介護 利用者数 26名 (延べ利用回数 594回)</p> <p>◎総合事業 利用者数 20名 (延べ利用回数 399回)</p> <p>◎地域密着通所介護事業運営推進会議 10月4日、1月29日</p> <p>◎第1号事業実施事業者手段指導 9月11日</p> <p>◎2月新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大したため手洗い消毒等の感染予防に努め事業を継続した。</p> <p>◎有資格者の人材確保が困難となり3月末で事業を廃止した。</p>	

【取組目標4：地域福祉トータルケア推進事業の強化】

事業名	トータルケア推進事業	320,709円
実施内容	<p>◎トータルケア推進事業で取り組んできた地域福祉活動の事業点検を実施、住民主体の活動を支援、全ての町民が住み慣れた地域において、安全に安心して暮していけるよう地域の福祉力を高め「福祉でまちづくり」に取り組んだ。</p> <p>◎社協サポーター（福祉応援団）の登録：10名</p> <p>◎ワーキンググループの支援：はとむぎドンクラブ、いきいきパソコンクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はとむぎドンクラブ活動：仙南児童クラブ、まめだ屋夏祭り、後三年鴻声の里祭 ・いきいきパソコンクラブ活動：第17回9名、第8回7名、第19回8名 <p>◎おたすけマン事業の実施：延べ利用件数 110件、おたすけマン登録者数10名</p> <p>◎県南5市町村社協合同による地域福祉担当職員合同研修会の開催 8月30日 4名参加</p> <p>◎人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティソーシャルワーカー実践研究会研修 9月6日 3名参加 ・地域福祉推進研修 11月28日～29日 1名参加 	

事業名	生活支援コーディネーター事業	2,160,000円
実施内容	<p>◎生活支援コーディネーター1名（兼務）を配置し、地域包括ケアシステムの介護予防・生活支援の仕組みの構築のため、アウトリーチを行いながら地域生活課題の把握に取り組み、多様な事業主体との地域たすけあいの安心生活の構築を目指した。</p> <p>◎地域サロン座談会でのニーズ把握</p> <p>◎ふれあいサロン未実施地区への聞き取り調査</p> <p>◎地域の気付きやつながり強化に向け、老人クラブやJA女性部と連携について協議した。</p> <p>◎おたすけマンや専門業者との情報交換等により生活支援項目やルールの整理を行った。</p> <p>◎弘前学院大学による地域支えあい活動除雪ボランティア活動への調査協力</p> <p>◎生活支援体制整備協議体全体会議において調査結果等活動状況報告 7月、11月、2月</p>	

事業名	まめだ屋運営事業	704,473円
実施内容	<p>◎いつでも利用でき、町民同士の交流が自由にできる空き店舗活用で、閉じこもり予防、生きがいつくりを推進した。</p> <p>◎まめだ屋を会場に秋田若者サポートステーションと共催し、毎月2回第2第4水曜日に若者の居場所作り事業を実施。気軽に立ち寄れる若者の居場所作りを支援した。</p> <p>◎まめだ屋ボランティア：11名</p> <p>◎まめだ屋活動サークルの支援：パソコン教室、手芸教室、将棋クラブ、地区ミニデイ等</p> <p>◎利用状況：利用団体24団体 延べ利用人数：1,583名</p> <p>◎2月新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大したため、利用人数の制限と手洗い消毒や換気等の注意喚起をして感染予防対策を講じ事業を継続した。パソコン教室は予防対策が困難なことから担当者と協議し2月以降の開催を中止した。</p>	

【取組目標5：ともに支えあう地域づくり】

事業名	ネットワーク活動の推進	732,778 円
実施内容	<p>◎要援護者の早期発見から支援につながる“一人の不幸も見逃さない運動”を推進。民生児童委員や分野を超えた関係機関との連携・調整のもと、高齢者世帯や支援を必要とする世帯に対する地域の見守り活動等のネットワーク（見守りの網の目）により、地域で自立した生活を支援した。</p> <p>◎毎月地区民協定例会にコミュニティソーシャルワーカーが出席、地域課題の把握と要援護者の情報共有を図った。</p> <p>◎警察署と認知症や気になる世帯の情報を共有し、訪問活動を行い世帯の支援見守りの強化を図った。</p> <p>◎生活困窮者自立支援調整会議毎月 1 回</p> <p>◎要援護者実態把握調査：民生児童委員の協力を得ながら、要援護者の実態調査及び生活課題（ニーズ）の把握に努め、要援護者台帳のシステム管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし等要援護者世帯調査 1 回（4 月） ・単身世帯実態調査（通年） <p>◎緊急一時支援事業：困窮者への現物支給や緊急貸付等の支援体制を整備、行政等の関係機関とネットワーク支援として取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現物支給利用者 4 件 ・コープフードバンク利用者 0 件 <p>◎認知症 SOS おたすけネットワーク：関係機関との連携によるセーフティネットワークの体制を継続した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前登録者 25 人、協力企業団体 104 件、検索発信 1 件。 	
事業名	在宅介護支援センター事業（千畑地区）	1,986,937 円
実施内容	<p>◎身近な相談窓口として、在宅において介護が必要な方々に介護に関する相談や情報提供を行い、サービスの提供へつなぎ支援した。電話による相談受付は 24 時間体制をとり、相談者の問題解決に向けて関係機関との連携を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 1,555 件 <p>◎地域の会館等で介護教室等を開催し、介護予防に努め高齢者の自立した生活を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒予防教室 11 回 ・健康講話 1 回 ・介護教室 9 回 <p>◎ケア会議の開催など地域包括支援センターや福祉保健課、保健センター等と相談対応の連携と情報共有を図り、多職種連による地域の問題解決の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア連絡会 6 回 ・地域ケア会議 6 回（自立支援型地域ケア会議 3 回） ・医療介護多職種連携研修会 7 月 11 日、11 月 14 日、8 月 29 日 ・医療と健康を考える集い 7 月 13 日 	
事業名	ボランティアセンター運営事業	631,011 円
実施内容	<p>◎ボランティアセンターとしてボランティアの育成・調整により活動の参加促進を図った。ボランティア会員研修会を共催し社協のボランティアセンターとしての役割について研修を行った。</p> <p>2月14日開催 150名参加</p> <p>◎災害ボランティアセンターとしての機能・機材・災害食の充実及び人材育成を図った。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアコーディネーター養成研修への参加 1名 ◎災害に備えて自家発電の定期点検を行った。
--	---

事業名	みさと福祉センターの管理・運営	46,484,357円
実施内容	<p>◎地域福祉活動の拠点として、健康・生きがい活動の増進を図り、各種の相談に応ずるとともに生活向上のための便宜等を総合的に提供し、町民の福祉の増進を図った。</p> <p>◎経年劣化による設備の修理や入れ替え等により施設の安全に努めた。 （修理箇所：福祉センター屋根防水改修工事、車庫シャッター修理、ロビーのエアコン入れ替え、会議室エアコンの修理、駐車場外灯修理、ボイラー修理、配食サービス用のガス台交換、生きがいデイサービス送迎バスの修理）</p> <p>◎災害備蓄用品等を備え、避難所としての機能を整備した。</p> <p>◎利用件数：139件、利用者数：3,579人</p> <p>◎2月新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大したため、会場の利用人数制限と手洗い消毒・換気等の感染予防対策を講じた上での利用とし、3月の貸出を自粛した。</p>	

事業名	罹災世帯等法外援護事業	20,000円
実施内容	<p>◎火災等の罹災した世帯に見舞金を贈り、世帯更正の一助とし支援を図った。</p> <p>◎見舞金交付：火災見舞1件</p>	

事業名	広報活動の推進	884,810円
実施内容	<p>◎福祉協議会の活動内容、福祉に係る情報を提供し、社協に対する住民理解を深めた。また、朗読ボランティア「ダンポ」の会の協力を得て、視覚障害者へ声の広報をお届けした。</p> <p>◎「福祉だより」第70号、第71号、第72号、第73号を発行した。</p> <p>◎ホームページによる情報公開。</p>	

【取組目標6：組織財政基盤の整備】

事業名	理事会・評議員会・監事会	320,805円
実施内容	<p>◎委員会（総務運営・事業推進）、専門委員会（苦情解決委員会・生活福祉資金調査委員会及びたすけあい資金運営委員会）により、社会福祉協議会の事業の進捗状況や課題等について協議、福祉協議会の健全な運営に努めた。</p> <p>◎委員会 総務運営委員会1回 事業推進委員会1回</p> <p>◎専門委員会 苦情解決委員会2回 資金貸付委員会1回 生活福祉資金調査委員会1回 評議員選任解任委員会1回</p>	

事業名	委員会（委員会・専門委員会）	81,864 円
実施内容	<p>◎委員会（総務運営・事業推進）、専門委員会（苦情解決委員会・生活福祉資金調査委員会及びたすけあい資金運営委員会）により、社会福祉協議会の事業の進捗状況や課題等について協議、福祉協議会の健全な運営に努めた。</p> <p>◎委員会 総務運営委員会 1 回 事業推進委員会 1 回</p> <p>◎専門委員会 苦情解決委員会 2 回 資金貸付委員会 1 回 生活福祉資金調査委員会 1 回 評議員選任解任委員会 1 回</p>	

事業名	福祉委員会議	799,135 円
実施内容	<p>◎社協事業への理解を深め、福祉委員の意識高揚を高め地域福祉活動の充実を図った。</p> <p>◎福祉委員会議開催日 仙南：6月26日、六郷：6月27日、千畑：6月28日</p>	

事業名	役員・職員研修	66,920 円
実施内容	<p>◎役員研修：役員の資質向上と組織強化を図るべく研修会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田県社会福祉大会への参加 10月30日 ・福祉座談会総括報告 11月25日 ・社会福祉法人監事研修 11月14日 <p>◎職員研修：職員の豊かな人間性を養うとともに、質の高い適切な福祉サービスの提供を目指し、各種研修へ参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティソーシャルワーク実践研究会研修 ・災害ボランティアコーディネーター養成研修 ・メンタルヘルス講習会 ・苦情解決研修会、リスクマネジメント研修 ・OJTリーダー研修 ・労務契約等解説セミナー、労働条件整備セミナー、働き方改革関連法セミナー 	

事業名	共同募金会事業への協力	
実施内容	<p>◎共同募金会事業への協力</p> <p>◎赤い羽根募金百貨店プロジョクト、赤い羽根自動販売機の設置への協力</p> <p>◎運営委員会 2 回、監事会 1 回、審査委員会 1 回、奉仕員会議 1 回</p> <p>◎令和元年度募金総額 6,980,627 円 達成率 101.7%</p> <p>◎赤い羽根募金百貨店参加企業 6 社、赤い羽根自動販売機設置 6 箇所</p>	